

事務事業名		佐野市暴力追放連合会参画事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	6 -					担当組織	担当部	議会事務局	担当課	議事課	
	政策	1 政策体系外					担当係	庶務係	担当課長名	高橋幸男		
	施策	1 議会活動支援の充実					新規事業・継続事業		継続事業			
	基本事業	1 -					実施計画事業・一般事業		一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					市単独事業・国県補助事業	市単独事業
	34	一般	1	1	1	佐野市暴力追放連合会参画事業					任意的事業・義務的事业業	任意的事業
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H17年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市暴力追放連合会会則					実施方法	直営
											事業分類	参画事業
											リーディングプロジェクト	該当なし
											市長マニフェスト	該当なし

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成27年度実績(平成27年度に行った主な活動内容)					
佐野市暴力追放連合会の会員として負担金を支出している。また、総会に出席し、暴力排除に関する意見交換及び情報収集を行っている。 * 佐野市暴力追放連合会とは、佐野市の関係機関、各種団体及び住民が総力を結集して徹底した暴力追放活動を展開し、暴力の存在しない明るく住みよい街づくりの推進を目的とし、佐野市その他の関係機関団体を会員として構成している団体である。		(市の活動) 総会(1回)に出席した。 (佐野市暴力追放連合会の活動) 総会の開催、暴力団追放啓発品(佐野市暴力団排除条例啓発用うちわ)の配布並びに全国地域安全運動、交通安全県民総ぐるみ運動、栃木県暴力追放県民大会、年末年始特別警戒及び干支引継式に参加					
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)
会議出席回数		回	1	1	1	1	

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市議会議員長	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)
(参画対象団体) 佐野市暴力追放連合会	市議会議員長	人	1	1	1	1	

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

関係機関と意見交換及び情報収集を行うことにより、情報の共有及び資質の向上を図り、市政振興に役立ててもらう。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
	会議出席回数	回	1	1	1	1	

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

議決機関としての権能が十分に発揮することができるよう支援する。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
	議員提案件数	件	2	2	2	2	
	決議・意見書提案件数	件	4	2	0	2	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(実績)		28年度(目標)		29年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円		10	10	10	10					
	事業費計(A)	千円		10	10	10	10					0
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金	10	負担金	10	負担金	10	負担金	10		
	人件費	人	1	2	2	2	2					
のべ業務時間	時間	4	8	8	8	4						
人件費計(B)	千円		16	32	31	16					0	
トータルコスト(A)+(B)	千円		26	42	41	26					0	

事務事業名	佐野市暴力追放連合会参画事業	担当部	議会事務局	担当課	議事課	担当係	庶務係
-------	----------------	-----	-------	-----	-----	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成5年に安佐地区暴力追放連合会が、旧佐野市、旧田沼町、旧葛生町その他の関係機関団体により組織された。1市2町の合併により佐野市暴力追放連合会となり、合併後も継続して参画している。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成23年4月1日から「栃木県暴力団排除条例」が施行され、同年6月20日から「佐野市暴力団排除条例」が施行されたことで、市、市民及び事業者全体で暴力団排除に取り組むこととなった。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	なし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	政策体系外施策	理由・改善案
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業があり統合・連携できる・している	理由・改善案
	*類似事務事業があれば、名称を記入	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	他課の類似事務事業へ統合することとなった場合、佐野市暴力追放連合会を退会することとなった場合又は佐野市暴力追放連合会が解散することとなった場合は、この事業を廃止することができる。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)		廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)																										
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○	×																						
	低下		×	×																						